

第3回

シンポジウム

幸せな人生の過ごし方考in富士見

定員100名



基調講演：埼玉医大 齋木 実 医師

富士見市民センター

11.26 土 13:00-16:00

第一部 リレートーク



城西大学薬学部教授 訪問薬剤師

大嶋 繁 氏

株式会社nino-nino代表 テパエ鶴ヶ島定期巡回サービス

高橋 達朗 氏

株式会社Restory代表取締役 かんたき朋

舟橋 司 氏

地域包括支援センターぺんぎん センター長

萩元 貴美子 氏

民生委員児童委員

福島 喬子 氏

鶴ヶ島市社会福祉協議会

牧野 郁子 氏

SPEAKER



主催：富士見地区地域支え合い協議会

TEL049-298-6683

第二部 パネルディスカッション

鶴ヶ島市市長

齊藤 芳久 市長

在宅医療医師 おのづか在宅クリニック医院長

小野塚 陽春 氏

居宅介護支援事業所たんぽぽ所長 ケアマネージャー

福島 松子 氏

在宅医療を実際に体験した家族代表

2名

地図情報



後援：鶴ヶ島市 助成：公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団

在宅医療とは、住み慣れた自宅・介護施設で医療が受けられる制度。

在宅医療という選択肢



参加無料

将来の不安に備える為に
シンポジウムに
参加して知っておこう



在宅医療の相関図



01
推進される
背景

入院するより費用が安い

2018年国民医療は43兆円。年間2.4%のペースで増加し続けています。



国民のニーズ

内閣府のアンケート結果にも自宅が最期を迎えたいと回答した方は5割以上。実際は8割以上が病院で亡くなっています。



よくある疑問

遠方に住む一人暮らしの父が在宅医療を受ける時、私も定期的に行かないといけないのかな？



費用負担は、在宅と施設で暮らすのではどちらが掛からないのかな？



入院している方が家族の負担は軽いと聞いているけれど、在宅医療はどこまでやってくれるんだろう？



会場：富士見市民センター集会室 鶴ヶ島市富士見5丁目11-1

参加申し込み

お申し込みは、FAXまたは事務局へお越しくください。（電話申し込みは不可）
※頂いた個人情報はコロナウィルス感染拡大防止の為、保健所へ提出するために使用します。

名前	住所
ふりがな	電話番号
	鶴ヶ島市

申し込み 富士見地区地域支え合い協議会 富士見市民センター2階

電話 Fax:049-298-6683